

Bulletin  
of  
Junior  
College  
Library  
Associatin

私立短期大学図書館協議会

# 会報

発行者：前 園 主 計  
発行所：私立短期大学図書館協議会  
〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2  
跡見学園女子大学短期大学部図書館内  
電 話 03-3943-1368

2000. 2 No.46

## ◆平成11年度短期大学図書館全国研修会開催◆

### テーマ『参考業務とインターネット』

日 時：平成11年9月9日（木）～10日（金）

場 所：金蘭短期大学

参加者：1日目 67名 2日目 66名

主 催：私立短期大学図書館協議会

担当地区：同協議会 近畿地区協議会

#### 1日目

基調講演「インターネットでの情報探索」

京都大学全学共通科目の講義・演習での経験

金子 周司氏（京都大学大学院薬学研究科助教授）

講 演「インターネットのあゆみ」

前田 進氏

（金蘭短期大学助教授・情報処理教育センター次長）

経験者インターネット講習 前田 進氏

初心者インターネット演習 渡辺 智康氏

（プール学院大学図書館）

#### 2日目

テーマ：「女性関係情報と参考業務」（講演及び演習）

講師 尼川 洋子氏（大阪府立女性総合センター）

今年度から協議会の職務が2年間の持ち回りとなり、各地区に分担された。その結果、平成11年度と12年度の全国研修会は、近畿地区協議会が担当することとなった。最近、参考業務にインターネットを利用するケースも増えていることから、従来の書誌による演習からインターネットの情報を中心とした演習に切り換えた。金蘭短期大学の全面的な協力により、1人1台の端末で、インターネットを自由に使える環境が実現した。企画がタイムリーであったためか、100名を超える参加希望があっ

たが、インターネットをゆっくり使える環境を考慮して、参加者を60名程度に絞らせていただいたことをご報告しておく。参加者はインターネットを導入していても、日頃ゆっくりと検索をすることが難しく、この機会にと時間を惜しんで真剣に取り組んでいた。

第1日目は、金子周司氏の「インターネットでの情報探索」、前田進氏の「インターネットのあゆみ」の2講演を行った。続いてインターネット検索に比較的慣れたグループは実際にインターネットを使って問題を解く演習を行った。また初心者グループは、インターネットでの情報検索に必要な基本的な用語の解説や操作方法について講習と実習を行った。

2日目は、尼川洋子氏による「女性関係情報と参考業務」の講演及び、女性関係情報についてインターネットと書誌を使った参考業務演習が行われた。問題の性質によって印刷媒体の資料を使うか、インターネットを使うかという媒体の選択と、その相違が回答にもたらす影響などを実際に確認した。インターネットを使った場合、サーチエンジンやキーワードの選択が重要になること、ホームページの更新時期にも注意する必要があることな



どを確認した。研修会終了後、各演習・講習の問題に対する解答例集を配布した。

当日は『インターネットで文献探索1999年版増補改訂』を、実践女子大学図書館から参加館に贈呈していただいた。また、京都大学の『大学生と「情報の活用」』や大阪ドーンセンターの資料を販売した。同時に、各参加館が利用案内等の発行物を交換資料として持参し、会場に設置した。

更に、例年の懇親会を「情報交換会」と位置づけ、日頃の業務上の悩みや、様々な取り組みについてお互いの情報を交換できる場とした。食事をしながら、全国から集まった図書館員が気軽に声を掛け合うきっかけともなり、和やかな歓談のひとつときとなった。

## ■ インターネットでの情報探索； 京都大学全学共通科目の講義・演習での経験

金子周司氏

京都大学が平成10年度から全学共通科目として開講した「情報探索入門」について、実際の講義内容を中心にお話いただいた。この科目は論文・レポートを作成する際の文献情報収集、卒論作成のための文献調査に必要な情報活用技術の修得を目的とし、附属図書館が提供部局となって行っている。そのため、実際の演習は図書館職員が補助として参加しており、図書館職員の情報探索技術や、学生に対する情報検索技術の指導方法等の研修にもなっている。

様々なデータベースとインターネットでの情報検索など複数の情報源を使うことで、学生は情報内容の違いを発見し、従来の書誌や参考図書の良いさに気づくこともある。図書館員は情報探索の近道を知って、その支援をすることが求められており、こうした演習が逆に図書館利

用促進に繋がっていくものである。

## ■ インターネットのあゆみ

前田 進氏

まず、インターネットの発展過程について、わかりやすく解説していただいた。インターネットは研究・開発・教育のコミュニティから出発したもので、「草の根ネットワーク」とも言われ、利用者の参加と責任において情報の発信・共有が行われる自立分散型システムである。現在は多額な資金が企業からインターネット開発に流れ込み、非営利的研究が地球規模で展開された時代ではなくなった。しかし爆発的に普及を見た今日、図書館においても、学生においてもまずは使ってみることを薦める。

## ■ 「女性関係情報と参考業務」

尼川洋子氏

大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）の活動概要と、女性センター情報ライブラリーにおける実際のレファレンス業務を中心にお話いただいた。情報ライブラリーは自治体が設置する女性関係情報の専門情報センターであり、問題解決のための情報によるサポートセンターと位置づけられる。また女性関係情報とは「女性の地位向上のために、女性の諸問題の実態を明らかにし、その解決を図ることに資する情報」をいう。

情報のニーズは個人の生活環境や社会環境によって生じる物理的、精神的悩みや問題から生じるものが多い。そのためニーズは多種多様であり、情報源もチラシからインターネットまで幅広く収集、蓄積されている。また情報の提供に対しては、利用者の質問内容の後ろにある情報ニーズを把握するために、ヒアリングが特に重要となる。

## 全国研修会事前アンケート集計結果

今回の研修会では、実際にインターネット検索を行うため、情報機器操作の習熟に関して、申込時に事前アンケートを行い、参加者のグループ分けの目安とした。

### 1. 図書館経験

1年未満……4人      1～3年……11人  
4～6年……12人      6年以上……40人

### 2. インターネットの利用経験について

よく利用している……25人

あまり利用しない……29人

利用したことがない……13人

### 3. マウスの使用について

使っている……62人      使っていない……4人

無回答……1人

### 4. 文字入力について

慣れている……55人      慣れていない……11人

無回答……1人

## 全国研修会アンケート集計結果

日 時： 平成11年9月10日（金）

回答件数： 66名（参加者66名 回答率100%）

1. あなたの図書館はどの地区に属しますか
- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 北海道地区……………2人     | 東北地区……………0人  |
| 関東・甲信越地区……………18人 |              |
| 東海・北陸地区……………11人  | 近畿地区……………23人 |
| 中国・四国地区……………7人   | 九州地区……………5人  |

2. 図書館での経験年数
- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1年未満……………4人    | 1～5年……………18人  |
| 6～10年……………17人  | 11～15年……………8人 |
| 16～20年……………10人 | 21年以上……………9人  |

3. あなたの当研修会参加回数
- |              |             |
|--------------|-------------|
| はじめて……………34人 | 2回目……………16人 |
| 3回目……………4人   | 4回目……………4人  |
| 5回目以上……………7人 | 無回答……………1人  |

4. 今回の研修会のテーマについて
- |             |              |
|-------------|--------------|
| 満 足……………56人 | やや満足……………5人  |
| 普 通……………5人  | やや不満足……………0人 |
| 不満足……………0人  |              |

5. 講演について
- |             |              |
|-------------|--------------|
| 満 足……………51人 | やや満足……………9人  |
| 普 通……………6人  | やや不満足……………0人 |
| 不満足……………0人  |              |

6. 演習について
- (1)全体の印象について
- |             |              |
|-------------|--------------|
| 満 足……………35人 | やや満足……………17人 |
| 普 通……………13人 | やや不満足……………1人 |
| 不満足……………0人  |              |

- (2)インターネットを利用した演習について
- |             |              |
|-------------|--------------|
| 満 足……………31人 | やや満足……………15人 |
| 普 通……………9人  | やや不満足……………6人 |
| 不満足……………0人  | 無回答……………4人   |

- (3)演習時間について

◆ 1日目

長い……………1人 適当……………43人 短い……………22人

◆ 2日目

長い……………1人 適当……………43人 短い……………22人

- (4)参考図書の数について

多い……………0人 適当……………36人  
 少ない……………20人 無回答……………10人

- (5)パソコン操作等のサポート態勢について

満 足……………36人	やや満足……………11人
普 通……………18人	やや不満足……………1人
不満足……………0人	

7. 全体について御感想をお聞かせ下さい。

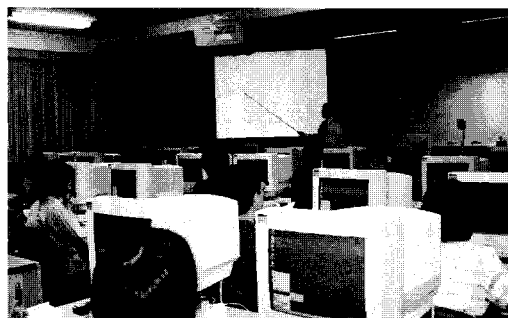
8. 今後の研修会に望むこと

9. その他：何でも自由にお書き下さい。

研修会の運営方法など、全体についての感想としては内容が濃く、満足しているというものが多かった。また情報交換会についての意見も寄せられた。特に企画がタイムリーであった、インターネットに触れる良い機会になったというコメントが目立った。

今後の研修会に対する要望としては、演習時間について、「時間がなかった」という指摘が多かった。講演は3つとも興味深い内容だったと非常に好評であった。しかし、参考図書の数については若干の不満があり、次回の検討課題となった。また演習の際、サポートの方法については、もう少し工夫が必要であったと思われる。テーマについては、インターネットを使った参考業務を続けてほしいという意見が目立ち、全体として情報の電子化、ネットワーク化に対する関心の高さが伺える。基調講演のテーマとして、短大の将来や図書館経営に関するものへの希望もあった。また開催時期については、夏休み中を希望する声が多かった。

その他のコメントとして、会場校の金蘭短期大学への謝意と、情報交換会の運営についてなど、参考になる意見を多数頂いた。



## ■ 研修会に参加して

北海道女子大学図書館 吉田弘子

今回の研修会を準備して下さった関西地区協議会の皆様に、御礼申し上げます。とても中身の濃い、実務に役立つ研修会でした。

京都大学金子先生の、大学図書館の使い方を教えるのは大学教育の基礎であると、実際に学生に情報探索の方法を講義されているお話に感銘を受けました。先生は研究者、教育者両方の立場から実践しておられ、私達の図書館でも今後学生に、情報検索の新しい流れをどう教えていくのかは課題であり、貴重な示唆となりました。

金蘭短期大学の前田先生は、インターネットがどのように誕生し発展してきたかについて、工学分野から説明され、このようなお話はなかなか聞く機会がないので、とても参考になりました。

大阪府立女性総合センターの尼川先生からは、利用者のニーズに即して生きた情報を提供していくため、日々地道な作業を積み重ねておられるお話を伺い、利用者の要求をよく知ることが大切であると、あらためて思いました。

二日目の演習では、尼川先生がグループで解いた演習問題を御指導下さり、先生の解説を聞くことで、参考業務のうえでインターネットをどう使っていくのか、実際によく理解できました。私達の図書館でも十月にインターネットが接続されましたが、研修会に参加したおかげで、今後図書館業務の中にインターネットをどう位置付けていくのか、展望が開けたように思いました。

全体としてレベルの高い、素晴らしい研修会であったと思います。また情報化がどんなに進んでも、それを発信するのも伝えるのも“人”であり、情報を収集・整理し、適切に提供するために、司書の果たす役割はますます重要になるという感も強くしました。

参加した全国の皆様からも、情報交換会等を通じ、多くのことを教えて頂きました。どうもありがとうございました。

## ■ 「何をすべきか、何ができるのか」

愛知女子短期大学附属図書館 守田正江

21世紀を間近に控え、図書館は急速な変化をみせている。主役は、収集の中心であった印刷物に肩を並べる勢いで入り込んできた「電子情報」だ。中でもインターネ

ットを使ったデータベースサービスは日々進化しており、我々も研修を怠れない状況にある。

京都大学薬学研究科の金子氏のご専門分野外にも関わらず、図書館界の現状をきっちり押さえたうえで、我々に有用な情報をふんだんに与えてくださった。

その中で特に私がひかれたのは、スタンフォード大学図書館主導の「High Wire Pressプロジェクト」である。

- ・質の高い学術誌をアメリカと同日に海外で全文入手できる対応の速さ
- ・引用文献は無料で全文開放する度量
- ・今後新たに発表される関連論文をも電子メールで通知する徹底したサービス

いずれを取っても発想が商業主義に走っておらず、利用者に惜しめない援助を与える前向きな姿勢と懐の深さには驚かされた。

日本ではどうだろうか。「電子情報化時代突入」と騒がれてはいるが国家的事業としての取り組みは少なく、利用に際しても学部学生不可であったり（NACSIS-IR）、基本料・接続料・出力料と加算される料金システムをとっていたり（JOIS）と、誰もが簡単に必要な情報を得るには障害となる部分も多く見受けられる。

多くの障害の中には、到底我々個人の力では如何ともしがたい大物もあろう。しかし大学図書館で働く者として、利用者の研究・学習を支援するために何をすべきか、どうすれば便利になるのか、身近なところから進めていけることはないかを考えると、「まずは足元から」の答えに至る。

各種情報のデジタル化が進みネットワークの利用環境が整いつつある今、図書館の業務にインターネットは欠かせないものとなってきた。特に参考業務においてインターネットを利用するとしないのでは、情報の新しさ・入手時間・範囲等に格段の差がでることは明らかだ。電子情報が情報源の主流となっている分野も存在している。反面、国内でのデータベース化が遅れている人文系の分野など、調査項目によっては書籍での検索に軍配のあがることも多い。そこを見極め、情報への確かな近道を利用者に知らせることが我々の心がけるべきポイントだろう。そのことを今回の研修会で思い知った次第である。



## 事務局報告

〈会勢〉平成11年12月10日現在

北海道	20
東北	22
関東甲信越地区	101
東海・北陸	44
近畿	76
中国・四国	30
九州	36
計	329 館

〈新規加盟館〉(平成11年6-12月)

足利短期大学附属図書館(関東甲信越地区)  
白鳳女子短期大学図書館(近畿地区)

〈退会館〉(平成11年6-12月)

帝京学園短期大学図書館(関東甲信越地区)  
四天王寺国際仏教大学図書館(近畿地区)

〈会議〉

平成11年度業務担当者連絡会議

日時:平成11年12月9日(木)13:00~

場所:アルカディア市ヶ谷私学会館3階会議室

出席者:前園主計会長

(青山学院女子短期大学図書館長)

陸川博事務局庶務担当

(跡見学園女子大学短期大学部図書館)

森康子事務局会計担当

(青葉学園短期大学図書館)

梅野智美会報担当(九州大谷短期大学図書館)

上木恵子紀要担当(金沢学院短期大学図書館)

田中佳恵平成11年度研修担当

(金蘭短期大学図書館)

濱岡賢二平成12年度研修担当

(大阪信愛女学院短期大学図書館)

入江忠昭前研修担当・監査

(和洋女子大学短期大学部図書館)

議事:1.会長挨拶

2.出席者自己紹介

3.本部報告

4.会報について

5.紀要について

6.全国研修会について

議事終了後に懇親会を開いた。

〈本部役員会記録〉

○平成11年度第2回

日時:平成11年9月21日(火)

場所:目白学園総合図書館

協議事項:1.全国研修会担当館よりの要望について

2.業務担当者連絡会議の開催について

3.紀要担当館よりの要望について

4.予算の消化状況について

○平成11年度第3回

日時:平成11年11月18日(木)

場所:目白学園総合図書館

協議事項:1.業務担当者連絡会議について

2.東海・北陸地区よりの出版助成金申請について

3.紀要第20号編集委員会開催費援助申請について

4.日本図書館協会短期大学図書館部会ワークショップの後援について

5.定年退職者の後任について

○平成11年度第4回

日時:平成11年12月9日(木)

場所:アルカディア市ヶ谷私学会館

協議事項:業務担当者連絡会議について

〈出張〉

日時:平成11年9月9日(木)

場所:金蘭短期大学

前園会長、陸川事務局庶務担当が全国研修会に出席



## 地区活動報告

〈北海道地区〉

創立20周年記念講演会及び平成11年度職員研修会

日時:平成11年8月27日(金)14:00~17:40

会場:札幌サンプラザ 2階玉葉の間

I) 研修会概要

テーマ 事例報告:図書館利用者教育

～新入生のための～

### 1. 「新入生のための利用者教育」

北海道女子大学図書館 吉田弘子氏

北海道女子大学図書館では、従来図書館のみで利用者教育を実施してきたが平成11年度から学科・教員の協力のもとに図書館員が手分けし、新入生のための利用者教育を実施し大きな成果を上げているとの報告があった。

### 2. 「基礎ゼミへの利用者教育」

釧路短期大学附属図書館 木村修一氏

釧路短期大学では、図書館利用者教育を演習形式で実施しており、研修会参加者が新入生役となり「切り抜き速報誌」等により情報検索の演習を実際の教室で行われているように再現して行われた。

### 3. 「新入生のための図書館利用案内」

北海道文教短期大学図書館 佐々木夕夏氏

図書館利用案内は、一般的なものは新入生オリエンテーション時に実施しているが、担当教員より依頼のあった基礎ゼミの学生にたいして特別に時間を割いて図書館利用者教育を行っている。図書館で担当教員より与えられた課題をもとに実際にどのように情報検索したら良いかインターネット・CD-ROM等の電子的媒体や従来のレファレンスツールを使い図書館職員が手分けして指導し一応の成果を上げているとの報告があった。

## II) デモンストレーション

「CD-ROMライブラリー」

協賛 ビクター株式会社/紀伊国屋書店

ビクター社製 大型CD-ROMチェンジャーによる情報管理の仕方について説明と実演が行われた。

## III) 記念講演会

演 題：「岡田健蔵の図書館づくりを支えた人たち」

北広島市図書館長 坂本龍三氏

同地区協議会が発足した経緯について、新しい組織づくりの苦労話などを交えお話があり、引き続き岡田健蔵氏を支えた人たちの中から時間の都合で4人に絞りお話があった。それぞれの人物像や岡田氏とのやりとりなどエピソードを交えての講演が行われた。

## 〈東北地区〉

### 1. 平成11年度東北地区協議会総会・研修会

日 時：平成11年12月16日（木）13:30～16:00

場 所：ホテル メトロポリタン盛岡

出席者：13館18名

### 〈総 会〉

議 題：(1)平成10年度活動報告

(2)平成10年度決算報告・監査報告

(3)平成11年度事業計画

(4)平成11年度予算

(5)平成11年度理事会・総会報告

(6)脱会館について

(7)来年度の役員館について

### 〈研修会〉

(1)情報交換

①電算化導入の際のメリット、デメリットについて

②開館時間について

③土曜日の開館について

(2)講演

講師 石川啄木記念館 学芸員

山本玲子先生

演題「啄木と岩城文庫」について

## 〈関東甲信越地区〉

### 1. 会勢（平成11年12月10日現在）101館

新規加盟館 足利短期大学附属図書館

### 2. 幹事会

○平成11年度 第3回

日 時：平成11年9月21日（火）

場 所：目白学園総合図書館

報 告：①全国研修会出張報告

②非加盟館への入会勧誘について

③加盟館名簿の交換について

④「ご意見・情報をお寄せください！」について

⑤日本図書館協会関係委員の就任について

議 事：①「短期大学図書館研究」第20号掲載原稿執筆依頼について

②関東甲信越地区研修会について

○平成11年度 第4回

日 時：平成11年11月18日（木）

場 所：目白学園総合図書館

報 告：①会勢

②図書館・館員名簿の交換について

③業務担当者連絡会議の開催について

④今後のスケジュール

- 議 事：①平成12年度総会について  
②会報第28号の発行について

### 3. 事務連絡会

- 日 時：平成11年7月27日（火）  
場 所：目白学園総合図書館  
議 事：①資料送付について  
②研修会について

### 4. 会報第27号の発行

平成11年7月1日刊

### 5. 図書館・館員名簿（平成11年5月調査）の発行

平成11年8月1日刊

### 6. 研修会の開催

- 日 時：平成11年11月18日（木）  
場 所：目白学園研心館  
テーマ：実務に役立つ著作権法を徹底的に勉強してみよう  
講 師：前園主計  
参加者：24名  
非加盟館より2名、他地区加盟館より1名の参加あり

### 7. その他

- ①入会の勧誘  
非加盟館84館に対して「平成11年度図書館・館員名簿」、「会報第27号」、「研修会のご案内」を送付して、入会を勧誘した。
- ②図書館・館員名簿の交換  
他地区理事館に、今後の名簿作成の参考とするために「平成11年度図書館・館員名簿」を送付し、名簿の交換をお願いした。
- ③「平成11年度近畿地区研修会のご案内」配布  
平成12年2月9日（水）に開催の標記研修会のお知らせを加盟館へ配布した。

## （東海・北陸地区）

### 1. 平成11年度第3回幹事会

- 日 時：平成11年7月23日（金）13:00～15:00  
会 場：金沢学院短期大学  
出席者：9館12名  
議 題：(1)平成11年度総大会反省  
(2)平成11年度研修会の実施要項について  
(3)「会報No.31」特集テーマについて  
(4)その他

### 2. 平成11年度情報交換・研修会

- 日 時：平成11年10月7日（木）17:30～19:30

- 会 場：メルパルク金沢（研修会の前日開催）  
出席者：20館30名

### 3. 平成11年度研修会

- 日 時：平成11年10月8日（金）9:30～15:30  
会 場：金沢市文化ホール  
出席者：22館30名  
テーマ：変貌する図書館 part II  
<開会>  
会長挨拶：金沢学院短期大学図書館長 太田雅夫氏  
発表：「図書館利用教育ガイドライン」について  
北陸学院ヘッセル記念図書館 大西敏子氏  
発表：アンケート調査「BDS導入の状況」の結果について  
南山短期大学図書館 大野優子氏  
講演：「図書館における映画書 —不易と流行—」  
高田短期大学図書館事務室長 藤田 明氏  
講演：「脳力開発…原点に返って」  
行動脳力研究所所長 山本和子氏

#### <閉会>

- 会長挨拶：金沢学院短期大学図書館長 太田雅夫氏

### 4. 平成11年度第4回幹事会

- 日 時：平成11年12月22日（水）12:00～15:00  
場 所：金沢学院短期大学  
出席者：9館14名  
議 題：(1)平成11年度研修会の反省  
(2)平成11年度「会報No.31」発行について  
(3)平成12年度総大会について  
(4)本協議会（東海・北陸地区）の役員、会場校の選出方法について  
(5)その他

## （近畿地区）

### （幹事会）

- 第1回 平成11年11月2日（火）10:00～13:00  
議 題 今後の研修会について  
—昨年度のテーマ・「利用教育」のまとめ—

### （全国研修会準備委員会）

- 平成11年度開催の準備委員会  
第9回 平成11年7月22日（木）10:00～17:00  
第10回 平成11年8月24日（火）13:00～17:00  
第11回 平成11年10月8日（金）13:00～17:00  
平成12年度開催の準備委員会  
第1回 平成11年11月2日（火）13:30～17:00

## 〈中国・四国地区〉

### 1. 平成11年度第1回役員会

日 時：平成11年8月5日（木）10:30～12:00

場 所：高知市 高知パレスホテル新館

出席館：4館9名

議 題：平成11年度総会・研修会開催等について

### 2. 第14回（平成11年度）総会・研修会

日 時：平成11年8月5日（木）～6日（金）

場 所：高知市 高知パレスホテル新館

高知市 高知県立文学館

高知工科大学附属情報図書館

当番館：高知学園短期大学図書館

事務局：四国大学短期大学部附属図書館

出席者：20館29名

欠 席：10館（委任受理）

総 会：平成11年8月5日（木）13:30～14:30

(1)平成10年度事業報告・会計報告

(2)平成10年度監査報告

(3)平成11年度事業計画・予算（案）審議

(4)私立短期大学図書館協議会理事会・総会報告

(5)次期役員校選出（任期：平成12～13年度）

会長校 安田女子大学短期大学部

幹事校 広島文化短期大学

監査校 ノートルダム清心女子短期大学

(6)事務局報告

①岡山県内本協議会未加盟館への加盟勧誘について

②地区加盟館の校名変更について

広島文化女子短期大学から広島文化短期大学へ

③地区助成金の増額について

研修会第1日目：平成11年8月5日14:50～17:00

### 事例報告1

「コンピュータシステムの移行について

－徳山大学図書館の場合－

徳山女子短期大学図書館 田中雅信氏

### 事例報告2

「AVコーナー（視聴覚資料室）の運用について」

聖カタリナ女子短期大学附属図書館 玉岡兼治氏

### 事例報告3

「小規模図書館における一般開放の問題点」

瀬戸内短期大学図書館 峯森美鈴氏

### 事例報告4

「図書館における学生のコンピュータ利用と

無線LANの活用」

高知学園短期大学図書館 安岡 隆氏

### 承合事項・情報交換

研修会第2日目：平成11年8月6日9:20～15:50

(1)高知県立文学館常設見学

(2)講演

テーマ：高知の近代文学者たち

講 師：高橋 正氏（徳島文理大学教授）

高知の近代文学者たちの悲傷と反骨の系譜

について、「高知→いごっそう」という風

土と気質を交えての講演だった。

(3)施設見学

高知工科大学附属情報図書館見学

### 3. 私短図中・四国協ニュースの発行

平成11年11月26日、第15号

### 4. 今年度研修会講演抄録の発行

平成11年11月26日、『高知の近代文学者たち』

## 〈九州地区〉

### 1. 「図書館&館員名簿」（1999年10月現在）発行

### 2. 平成11年度幹事会開催

期 日：平成11年11月19日（金）

場 所：沖縄キリスト教短期大学会議室

出席館：5館

議 題：

（協議事項）

1) 平成12年度総会・研修会について

期 日：2000年4月20日（木）

場 所：パシフィックホテル沖縄（那覇市）

当番館：沖縄女子短期大学

2) 地区会議について

（報告事項）

1) 全国理事会（5/20）報告

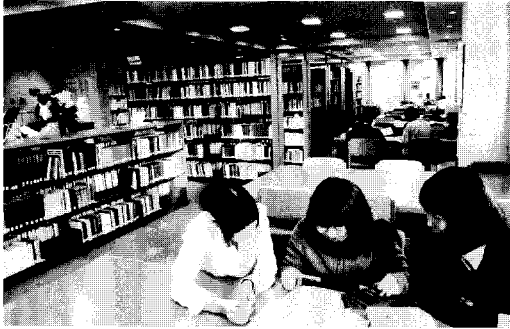
2) 本部分担業務状況報告



## 新規加盟館紹介

### 京都経済短期大学図書館

図書館長 野上 憲男



京都洛西の地、竹林に囲まれた緑豊かな環境の中に、学生数440名、内留学生36名が学んでいます。

1993年に創立された本学は、経営学の基礎知識をベースに情報処理能力をトータルに身につけた人材を育成し、さらに国際社会にも意識を広げ、幅のある人間的教養を身につけた個性豊かな21世紀の産業人を育てていくことを目的としています。

「学問の都」京都で当時においては例のない経営情報学科（単一学科）の短大として誕生しました。

図書館の資料収集も、経営学、情報学の各専門分野が中心になってきますが、現在約30,000冊の蔵書があります。

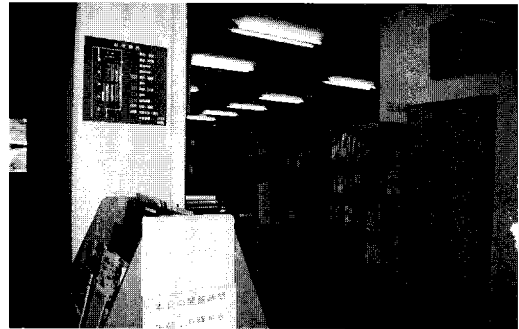
図書館は、全館開架式になっていて、閲覧席64、AVブース席8、ビデオ・レーザーディスクの視聴だけではなく、英会話をはじめとして、中国語、ハングル語等、語学のヒヤリングブースとしても学生に人気のあるコーナーです。

本学の、コンピュータ環境は全国でも有数のレベルにあり、学内LANを構築し図書館との連携も図られています。教育・研究を支える場として十分に利用してもらえるよう環境を整え、学習意欲の旺盛な多くの留学生をかかえているという特徴を生かし、国際交流の場としての図書館の役割も重要になってきています。

経営情報学に求められる期待に応えられるように努め、京都の地にちなみ「河出図、洛出書」を念じ、創造性豊かな図書館を目指したいと思います。

### 足利短期大学附属図書館

図書館長 岩佐 富男



足利短期大学のある栃木県足利市は、日本最古の学校と言われる「足利学校」のある街です。

大正14年、足利市内の17ヶ寺で組織された「仏教和会」により開設された「足利実践女学校」が発祥となっています。戦後「学校法人月見ヶ丘高等学校」と変更し、昭和40年に「足利工業大学」を、昭和43年に「足利工業附属高等学校」を併設し、「学校法人足利工業大学」と改めました。

昭和54年、幼児教育単科の足利短期大学が開設され、平成8年、隣接する「足利赤十字病院」の協力のもとに、看護科が新設されました。平成12年度より専攻科福祉専攻開設申請中です。

現在では、大学1校、短期大学1校、高等学校2校、幼稚園1園を持つ学校法人となっています。

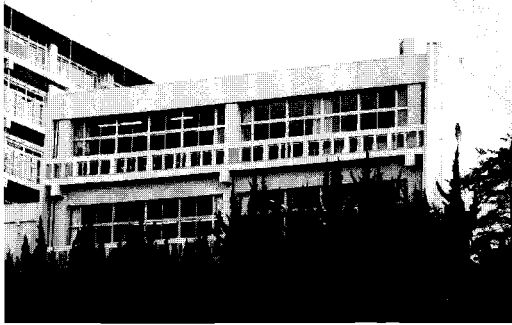
足利短期大学は、月見ヶ丘の地名のとおり足利市を一望する小高い丘の上に建っています。1号館、2号館、3号館、学生会館の4棟があり、2号館が図書館棟です。

それでは、図書館の中身をご紹介します。2号館の2階全部と3階の一部を使用しています。専用面積は、440㎡、座席数53席です。奉仕対象学生400名、教職員76名です。図書資料4万2千冊、雑誌104種、視聴覚資料2,500タイトル所有しています。ご覧のように小規模図書館ですが、看護科学生の実習期間中は、開館時間午前9時から午後7時となり、慢性的人手不足の中、図書館員2人で頑張っています。継続課題として、地域に開かれた図書館を目指し一般公開を検討しているところです。

会員の皆様どうぞよろしく願いたします。

## 東和大学・純真女子短期大学附属図書館

図書館長 加藤 八朗



1957年に創設された本校は国文科、家政科、英文科の三学科から成り、家政科は家政専攻、食物栄養専攻で構成され、さらに各学科を通じて専門知識とスペシャリストを養成するため、情報処理、司書・司書教諭、家政・CAD、生涯学習・リーダー等のコースが9コース設置されている。

3階建て図書館は1967年に創立された東和大学と共用で2階および3階に資料を開架して閲覧に供しており、3階には特に短大用書架、演習室（閲覧席数53）を設けている。蔵書数約19,000冊、雑誌54種。

図書の内容は学科およびコースに関連した図書が中心である。特に国文関係では本校の所在地の関係から、九州北部に関連した埋もれてしまいそうな古い文献の探索収集に努力している。その他各種機関の研究報告書、紀要等がある。

現在、ビデオコーナー、コンピュータを設置しているが、内外の情報化に対応できるよう、学園のメディアセンターと連携して機能の強化を図っている。それに応じて利用者へのPRを進め、図書館の利用度を高めたいと考えている。また大学図書館が併設されて共用しているため、利用者の視野を広げる役割を果たしていることもあり、共々充実した図書館を目指して運営している。

### 〈紀要編集担当〉・・・・・・・・・・・・・・・・

紀要21号の投稿先は下記のとおりです。

住所〒467-0867 名古屋市瑞穂区春敲町2-13

瀬木学園図書館（愛知みずほ短期大学）大塚知津子

TEL&FAX：052-882-3152

### 〈平成12年度全国研修会のご案内〉・・・・・・・・

平成12年度全国研修会は近畿地区で開催 詳細は未定、お問い合わせは、近畿地区 大阪信愛女学院図書館（担当 濱岡）までご連絡してください。

〈会報担当〉九州大谷短期大学図書館 梅野 智美

#### ◀編集後記▶

会報46号をお届けします。今号は、昨年9月に開催されました全国研修会関係記事を中心にまとめました。

当館もインターネットは導入しておりますが、日頃ゆっくり検索することができません。今回のインターネットを使ったデータベースサービスの研修は、コンピュータとゆっくり向き合うことができた貴重な経験になりました。しかも、実務に即実践できる有意義な研修会でした。

この研修会を終えて私が感じたことは、「図書館業務にはコンピュータはなくてはならない存在になってきているが、図書館を支えるものはやはり人。人と人のコミュニケーションをなくしては図書館は成り立たない」と言うことです。率先して実行したいと思ってます。

今号から、表紙の題字を変えました。皆様いかがでしょうか。

お気づきの点、ご意見等ありましたら何でも結構ですのでお寄せ下さい。皆様のご協力をお願いします。

(梅野)

